

## 長野県塩尻志学館高等学校 令和2年度第1回学校評議員連絡会 記録

日 時 令和2年8月5日(水) 午後3時00分から午後5時00分

場 所 塩尻志学館高等学校桔梗会館(同窓会館)

出席者 学校評議員 塩尻市商工会議所副会頭・塩尻市産業振興事業部長・塩尻市教育委員・  
同窓会長・PTA副会長・広陵中学校長・松本大学教職センター長  
学校職員 校長・教頭・事務長・総合学科主任・教務主任・進路指導主事・生徒指導主事  
生徒会主任

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 学校より説明
- 5 学校評議員会からの質問・意見・要望等(●は回答)

(評議員)

- ・進路で成果を出しているが、入学者選抜について、募集の観点①②について、系列によって募集人員に違いがあるのか。それが良い結果を残しているのか。
- 系列は科目選択のための目安になる科目群であるので、観点別に系列の希望についての調査はしていない。
- 以前は選抜方法が作文型とプレゼンテーション型があったが、3年前より観点別に変更した。生徒が観点を生かして、自分で頑張ろうとする姿勢が進路の結果につながっているのではないか。

(評議員)

- ・コロナ禍の関係でこれからの経済界がどうなるのか先が見えていない。これから社会に出ていく3年生にどのようなアドバイスをしているのか。学校側の苦労はどうか。
- コロナ禍の状況の中でできることを教員がそれぞれの場面で話題にしてやっている。
- キャリア教育を通して、自分で課題を見つけて解決していく学習をしており、それがこのような状況で生かしていけるのではないか。
- ・商工会議所の会員も生徒さんたちのために様々な施策を考えている。何かあれば相談してほしい。

(評議員)

- ・大学ではコロナ禍による業績不振で内定取り消しになった学生がいる。高校ではどうか。
- 内定取り消しはないが、入社しても仕事がなく、給料が払えないという事で、自ら辞めた例はある。
- ・大学としても学生たちも生徒たちを支援することを考えている。

(評議員)

- ・県外の学校に進学したが、その学校に行けないという例はあるか。
- 調査はしていないが、学校に来た生徒からそのような話は聞いている。

(評議員)

- ・今年度募集定員が200名に減った。今年は募集定員を上回ったが、広報活動を積極的に行って入学希望者が増えるように努力して欲しい。

(評議員)

- ・コロナが再び流行して休校になった場合、オンライン授業ができる設備は整っているか。
- 現在、県ではWiFi環境の整備を進めたり、モバイルWiFiの貸与などの方策が始まっている。環境については十分とは言えないが、他校との協力など工夫して進めたい。
- 学びの継続が進められるように校内でも検討を始めている。
- ICT整備については国も考えている。

(評議員)

・グランドデザインは道筋が分かりやすくできていてよい。また「志学の時間」は全校をあげて取り組んでおり、良いことである。事業所紹介冊子は良くできている。特に手書きなのがよい。事業所の地図があるともっと良くなるのでは。

●志学の時間は年間 170 日ほど全職員で取り組んでいる。昨年度の冊子があるので、後で目を通していただけるとありがたい。地図についてはご指摘いただいた通りで、生徒に地図の作成を任せたい。

(評議員)

・PTA の活動がコロナ禍の関係で中止になったものが多い。活動資金を生徒に還元したいので、学校でも考えがあれば教えて欲しい。

●PTA 会長さんより以前にそのような話をいただいた。ありがたいと感じている。

(評議員)

・地域の中でワインの学習を一緒に進めてきた。コロナ禍で中止になるものが出てきているが、一緒にできることがあれば、提案して欲しい。

(評議員)

・近くの学校通し、コロナ禍の悩みで共通する部分もある。シオジリ学の内容など、総合学科の取組を中学生に伝えていくと希望者も増加すると思う。折にふれて教えていただきたい。

(評議員)

・総合学科の特色や成果が大学の先生方になかなか伝わっていない。総合学科で行っている事や成果をもっと大学の教員の目にとまるようにアピールの仕方を考えたらどうか。

●全国の総合学科の校長会でも大学への働きかけをしている。これからもしていきたい。

## 6 校長挨拶 (まとめ)

## 7 閉会